別紙３

「里山再生モデル事業」事業計画
（楢葉町：楢葉まなび館周辺）

平成３０年３月２日
復興庁
農林水産省
環境省

１．本事業の目的

町民の生涯学習や交流の拠点として利用されている「楢葉まなび館」周辺の森林の除染や森林整備を行うとともに、空間線量率等測定により放射性物質等の状況を把握し、地域住民の安心・安全に向けた環境づくりを目指す。

また、本事業の成果について、原子力災害を受けた里山の再生に寄与するものとする。

【現　状】

○　モデル地区の森林は、町の平野部にある下小塙（しもこばな）集落の西側に隣接し、森林内には小学校用地を利用した地域文化交流拠点「楢葉まなび館」や「集会所」などの公共施設と集落をつなぐ歩道があり、地域住民の日常の往来に頻繁に利用されている。

○　当該森林は原発事故以降放置されており、地域住民から事故以前と同様、安全に利用ができるよう歩道等の除染や隣接する森林の整備について要望がある。

○　楢葉町は、平成２８年１月に策定した「楢葉町復興計画<第二次>第二版」により、町民の生活再建と、より健康な暮らしやすいふるさとづくりのため、復興に向け各種施策を推進している。

２．モデル地区の概要

地　　区：楢葉町下小塙地内 楢葉まなび館周辺
区域面積：約１．８ｈａうち森林約１．５ｈａ（民有林（私有林））
利用の方向：地域住民の日常的な利用を推進する。

３．事業実施期間

平成２９～３１年度

４．事業実施主体

国、福島県

５．事業内容

本事業は、以下の各事業を組み合わせて実施することとする。

（１）楢葉まなび館周辺の森林の除染

楢葉まなび館周辺の森林において、国直轄除染を実施する。除染の範囲は、同森林内にある歩道を中心とした範囲を予定。具体的な除染の実施箇所・手法については、より詳細な調査を踏まえて決定する。

（２）間伐等の森林整備

避難指示解除準備区域等の林業再生に向けた実証事業を活用し、間伐等の森林整備を実施する。具体的な森林整備の内容や実施区域は、森林の状況等詳細な調査を実施した上で決定する。

（３）線量マップの作成など各種線量測定

福島再生加速化交付金（帰還環境整備）「個人線量管理・線量低減活動支援事業」（内閣府）を活用し、当該モデル地区の線量マップを作成する。

６．事業工程（予定）

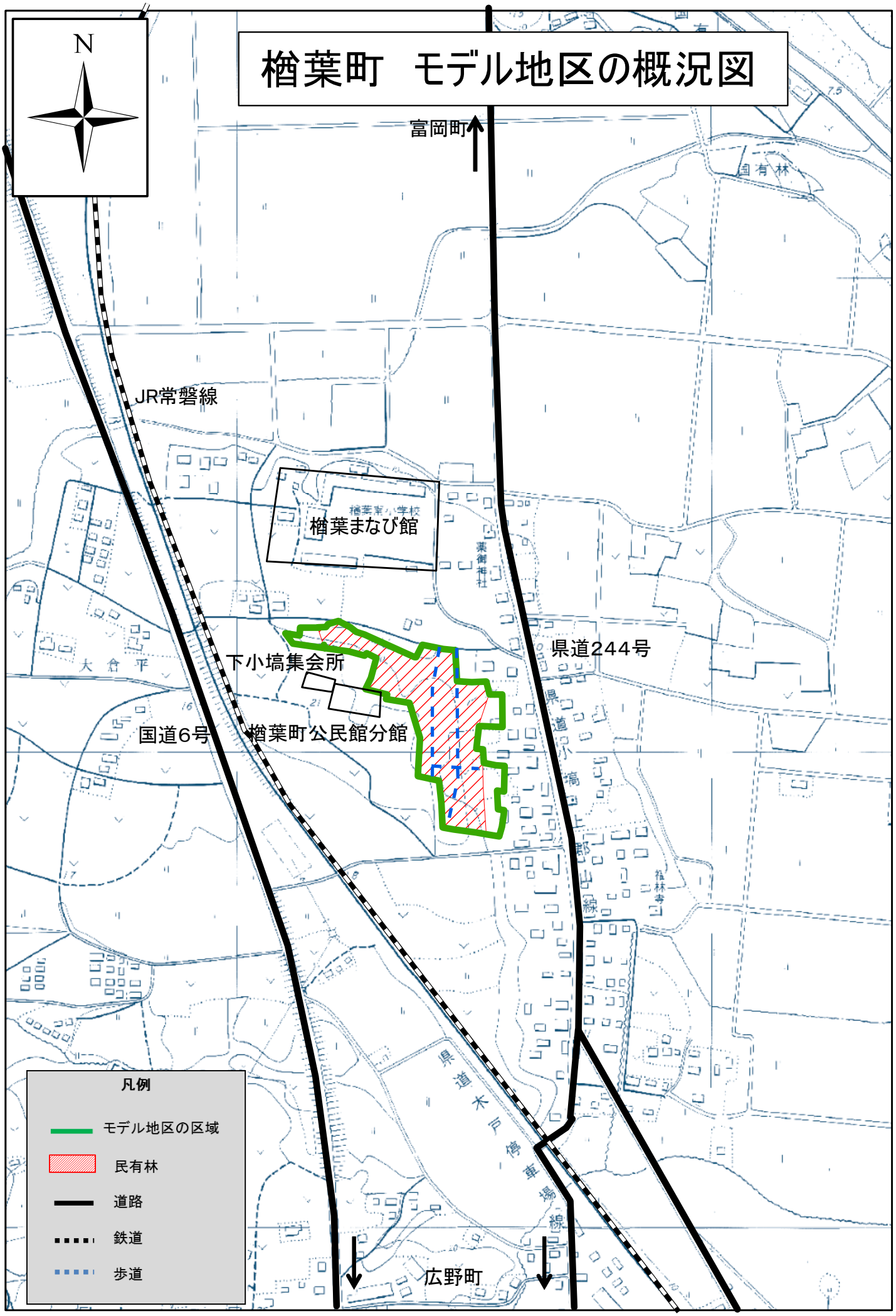
下記の事業工程（予定）で各事業を進めていく。また、各事業の進捗を踏まえ、必要に応じ工程の延長を検討する。

<table>
<tr><th>事業内容</th><th>平成
29 年度</th><th colspan="3">平成 30 年度</th><th colspan="3">平成 31 年度</th></tr>
<tr><td>除染</td><td>詳細調査・
除染範囲決定</td><td colspan="2"></td><td>除染の実施</td><td colspan="2">事後の線量測定等</td><td>効果の検証・
取りまとめ</td></tr>
<tr><td>森林整備</td><td>詳細調査</td><td colspan="3">森林整備等の実施</td><td colspan="2">モニタリング</td><td>取りまとめ</td></tr>
<tr><td>線量測定</td><td>事業内容の
調整・決定</td><td colspan="4">上記２事業実施前の空間線量率等の測定、
測定結果提示</td><td colspan="2">上記２事業実施後の空間線量率等の測定、
測定結果提示、
マップ作成</td><td>取りまとめ</td></tr>
</table>

1:20,000

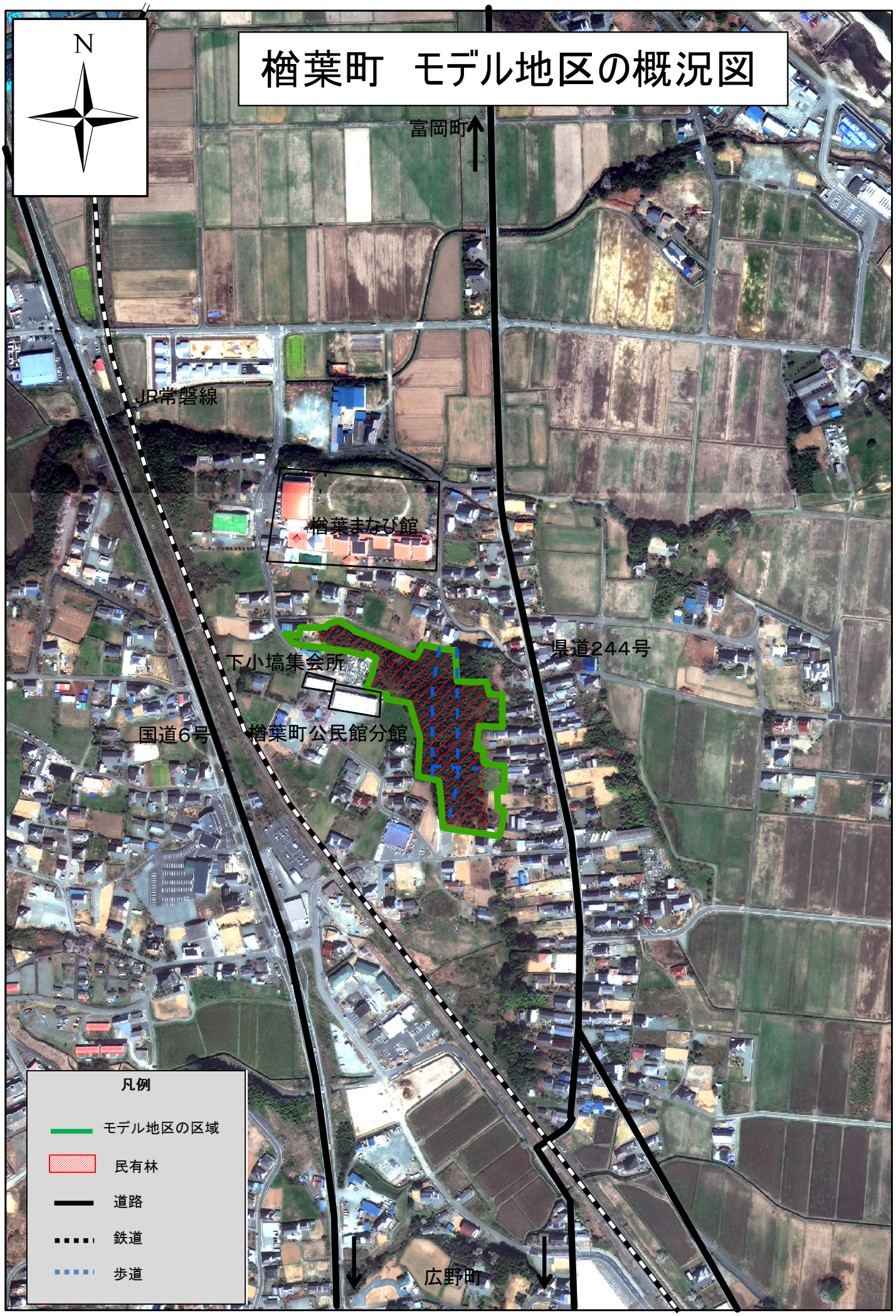
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。（承認番号　平29情複、 第1516号）
承認を得て作成した複製品を第三者がさらに複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

楢葉町　モデル地区の概況図



1:5,000

楢葉町　モデル地区の概況図



1:5,000

モデル地区写真資料
（楢葉町：楢葉まなび館周辺）

（写真１：外観）

（写真２：林地の状況）

（写真３：歩道１）

（写真４：歩道２）